



SWIFT ソリューション導入方法 (ファンドユーザー向け)

SWIFT Japan 山田 文孝

December 2008



ファンドメッセージを送受信する為に

- 1) 現在SWIFT端末の導入済のユーザーへ
 - I/E ベースの端末導入
 - バックオフィスシステムとの連携
- 2) 新規にSWIFT端末を導入するユーザーへ
 - 1日1000 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Kit)
 - 1日200 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Lite)
- 3) 今後の予定
 - 講習会関連

Q&A



ファンドメッセージを送受信する為に

1) 現在SWIFT端末の導入済のユーザーへ

- I/E ベースの端末導入

- バックオフィスシステムとの連携

2) 新規にSWIFT端末を導入するユーザーへ

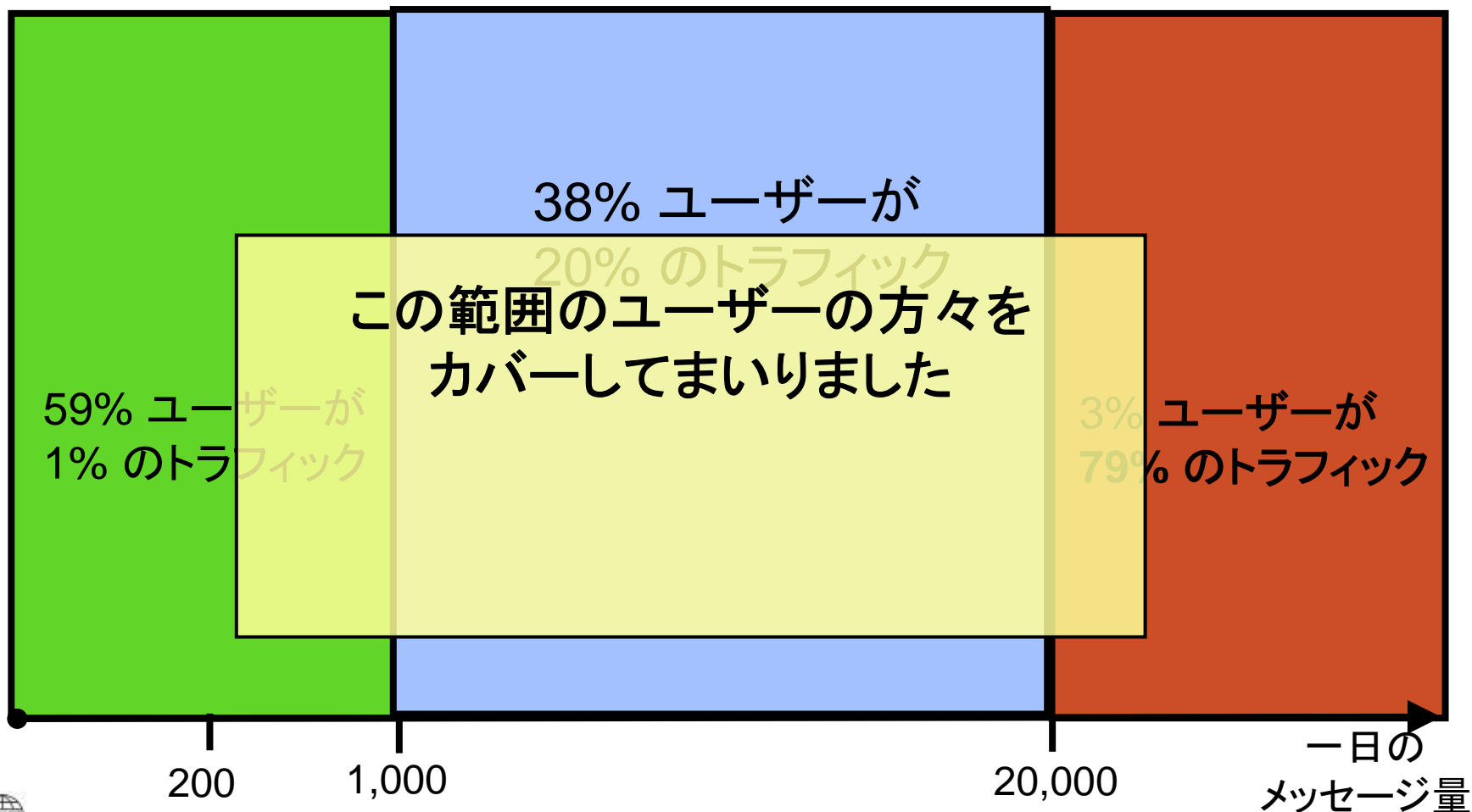
- 1日1000 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Kit)
- 1日200 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Lite)

3) 今後の予定

- 講習会関連

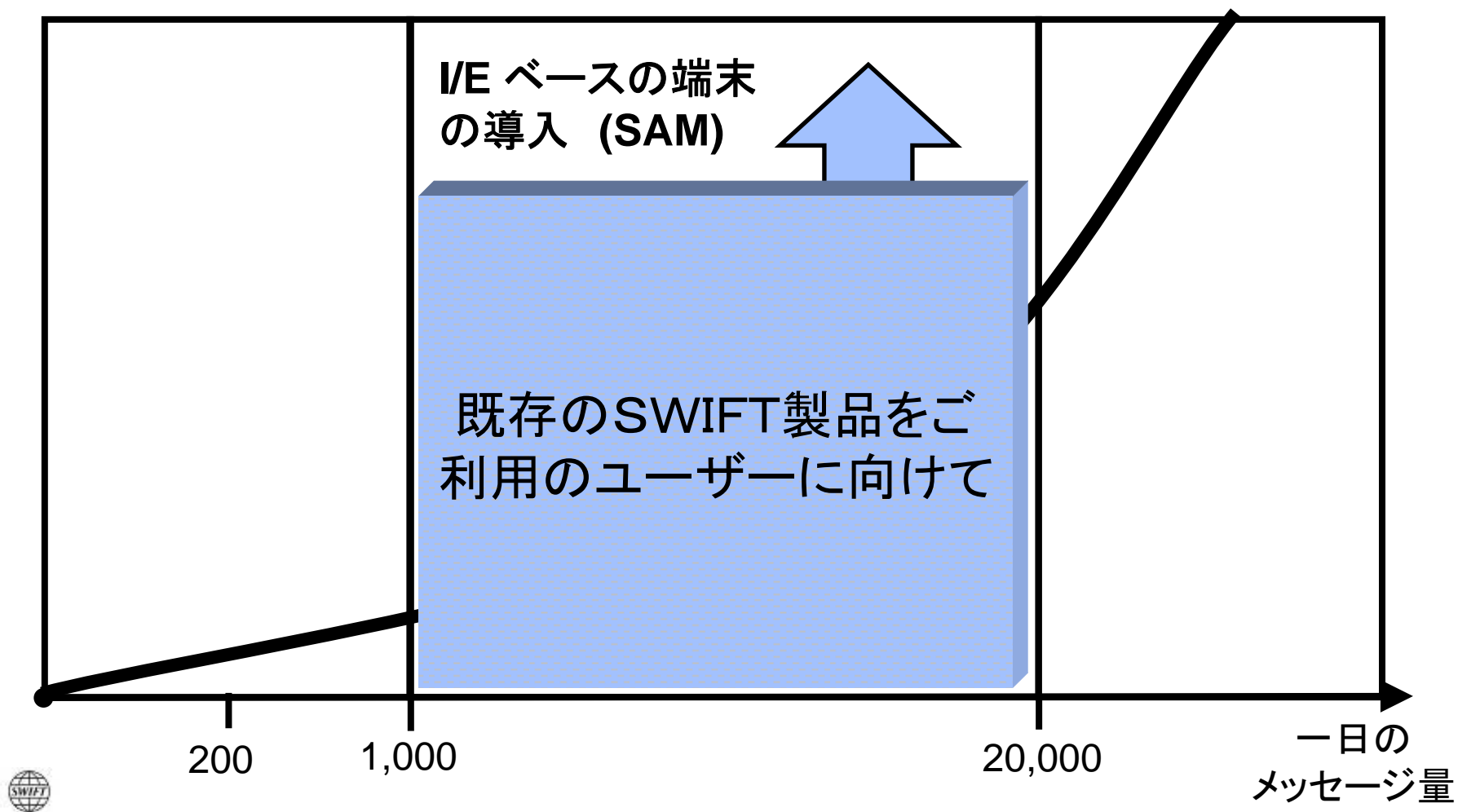
Q&A

現在のSWIFTユーザーの状況



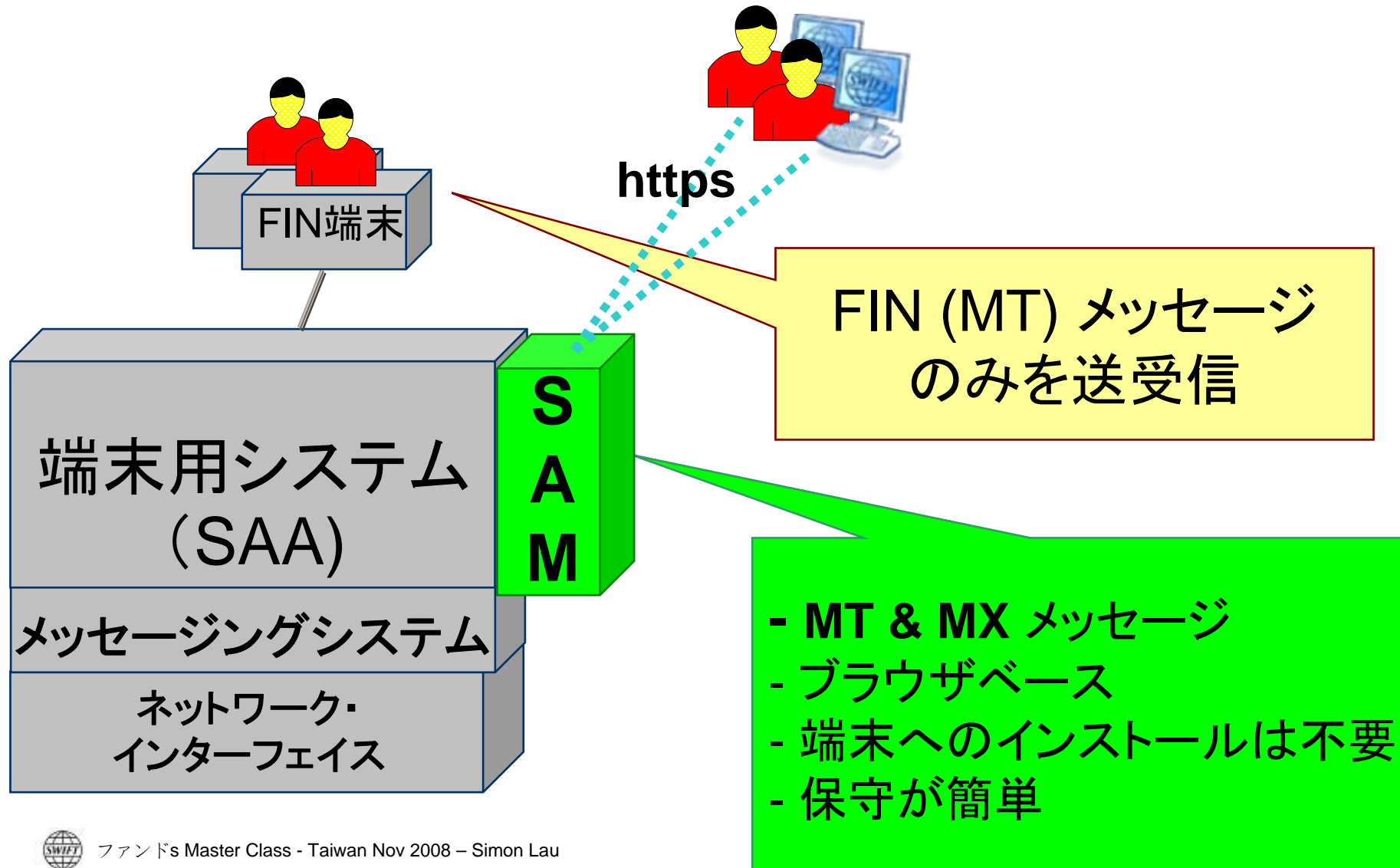
ファンドのメッセージを送受信するためには？

-現在SWIFTをご利用のユーザー向けに(端末ベース)



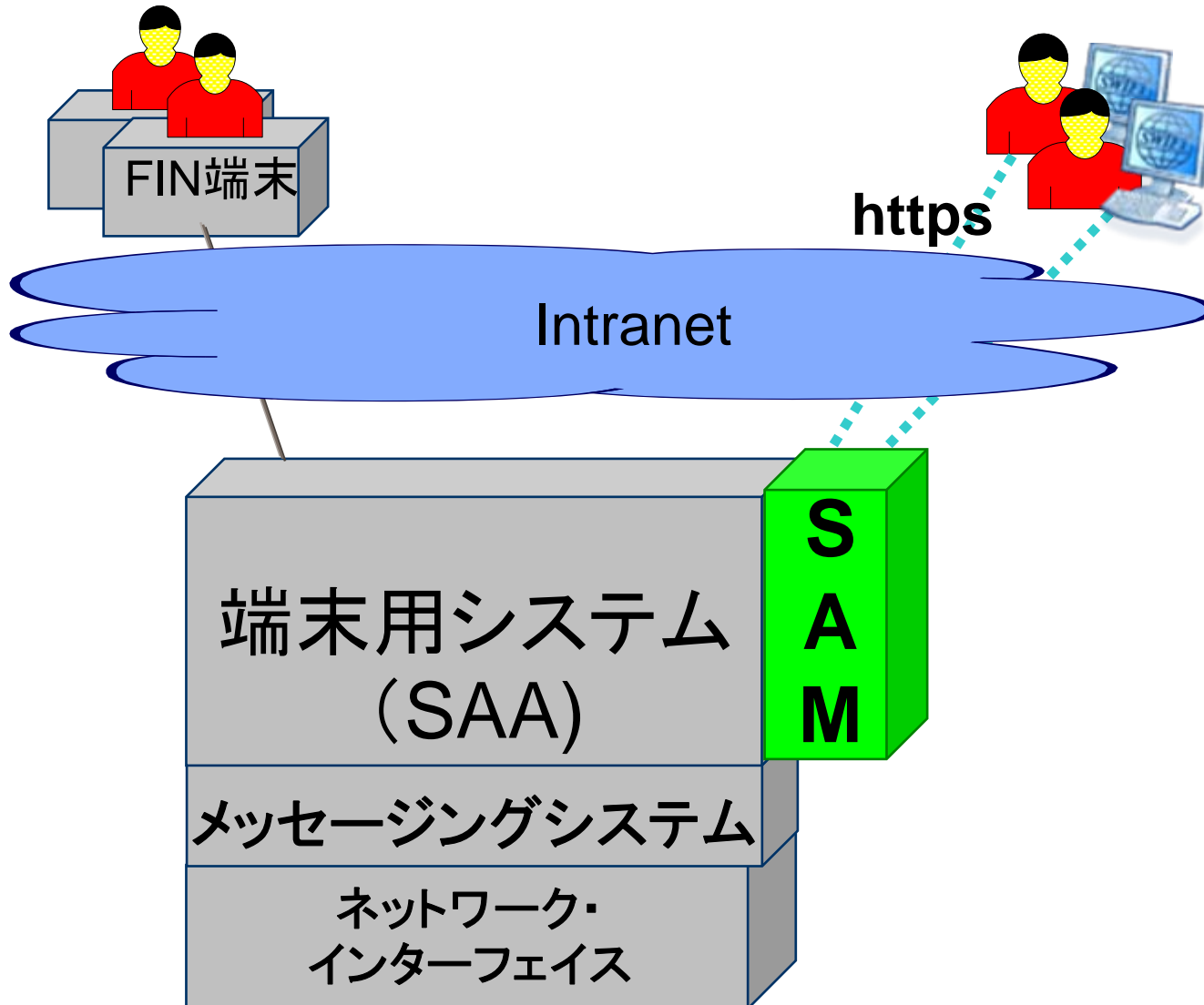
Alliance Messenger

- 既存インフラへの接続で導入が可能



Alliance Messenger

- 既存インフラへの接続で導入が可能(リモートサイト)



Alliance Messenger (SAM)

- 既存インフラへの接続(マニュアル・インプット)

- Messenger はInternet Explore 経由で接続。マニュアル・インプットを基本とした端末。
- SAMを利用することで、すべてのファンド用メッセージの送受信が可能
- 受信メッセージは、マニュアルでの受信、スケジューラーに自動受信が可能
- 受信メッセージは、端末での参照、プリンターへの印刷が可能。





ファンドメッセージを送受信する為に

1) 現在SWIFT端末の導入済のユーザーへ

- I/E ベースの端末導入
- バックオフィスシステムとの連携

2) 新規にSWIFT端末を導入するユーザーへ

- 1日1000 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Kit)
- 1日200 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Lite)

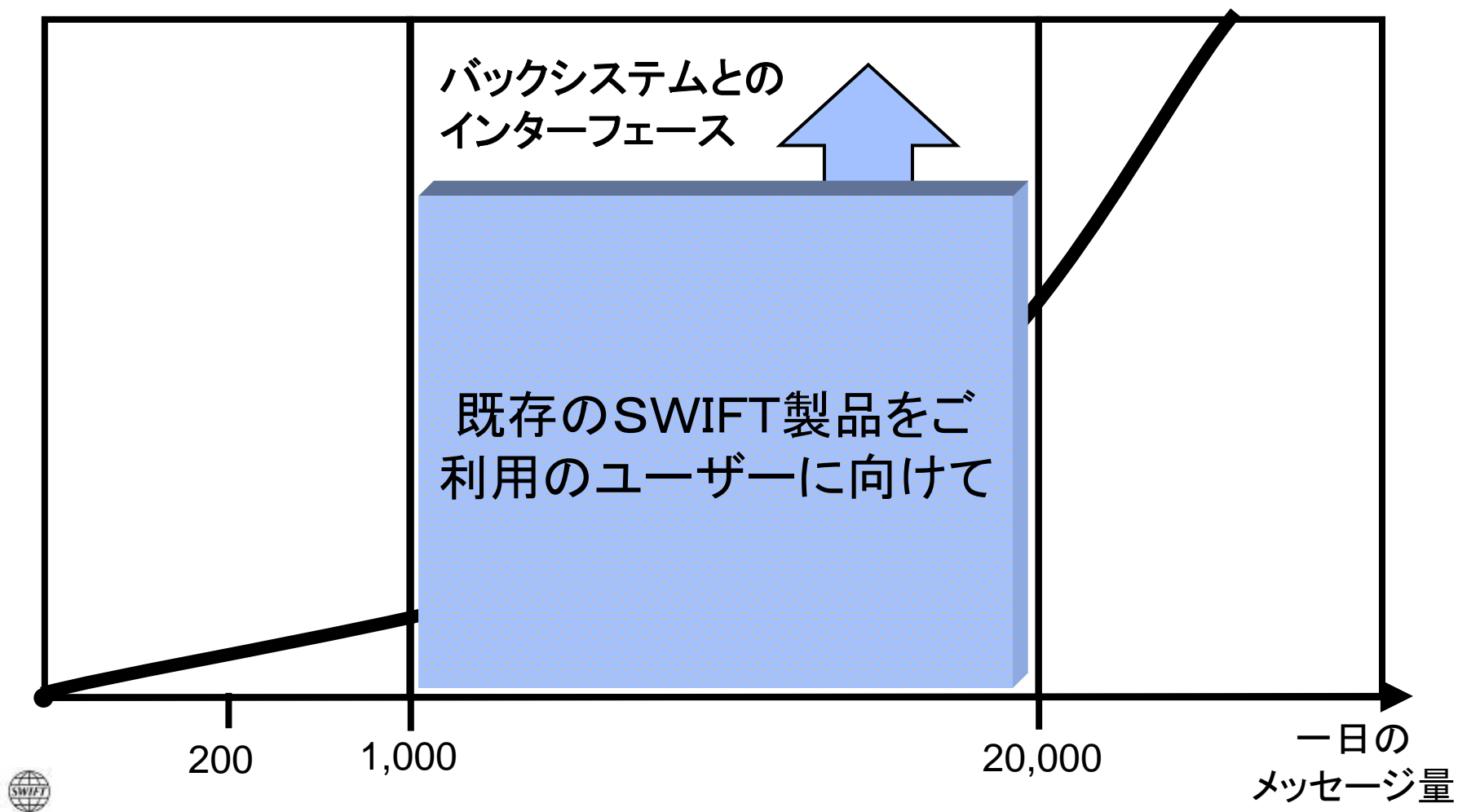
3) 今後の予定

- 講習会関連

Q&A

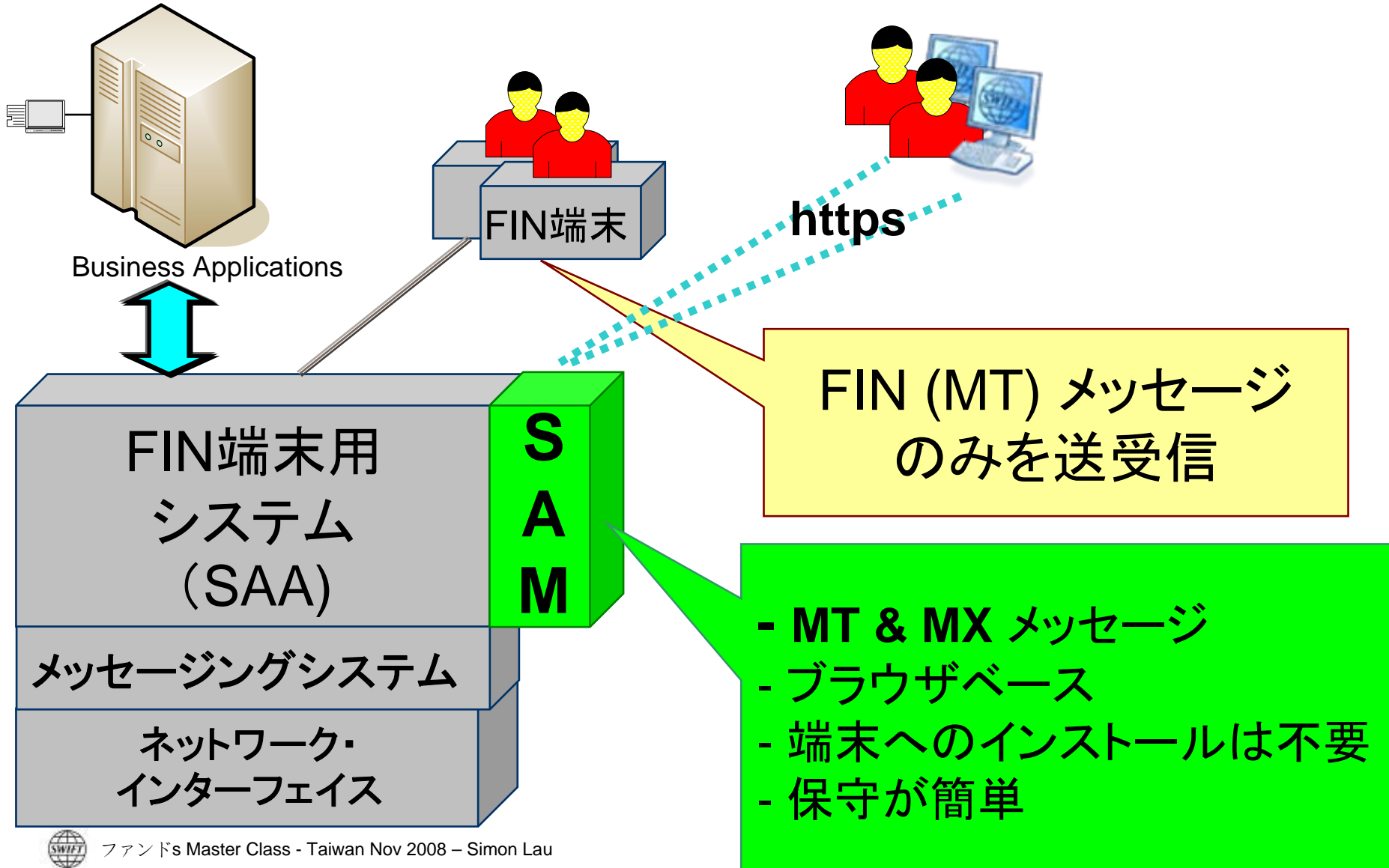
ファンドメッセージを送受信するためには？

- 既存システム利用し、バック・オフィスシステムと連携



ファンドメッセージを送受信するためには？

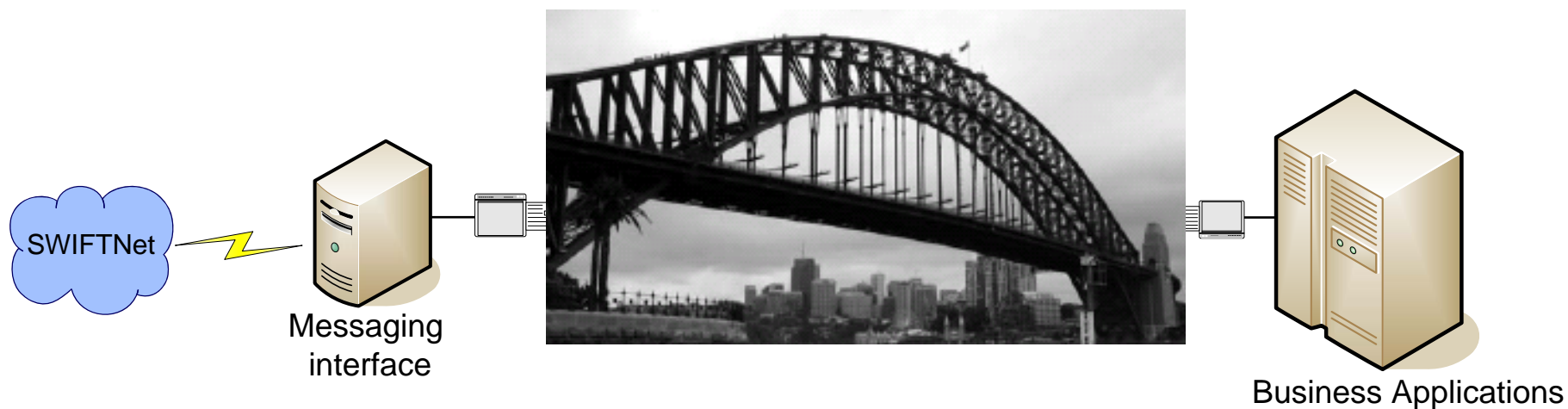
- 既存インフラとの接続導入 (Integrator)



SWIFTAllianceとの連動に関して

- SWIFT からのご提案

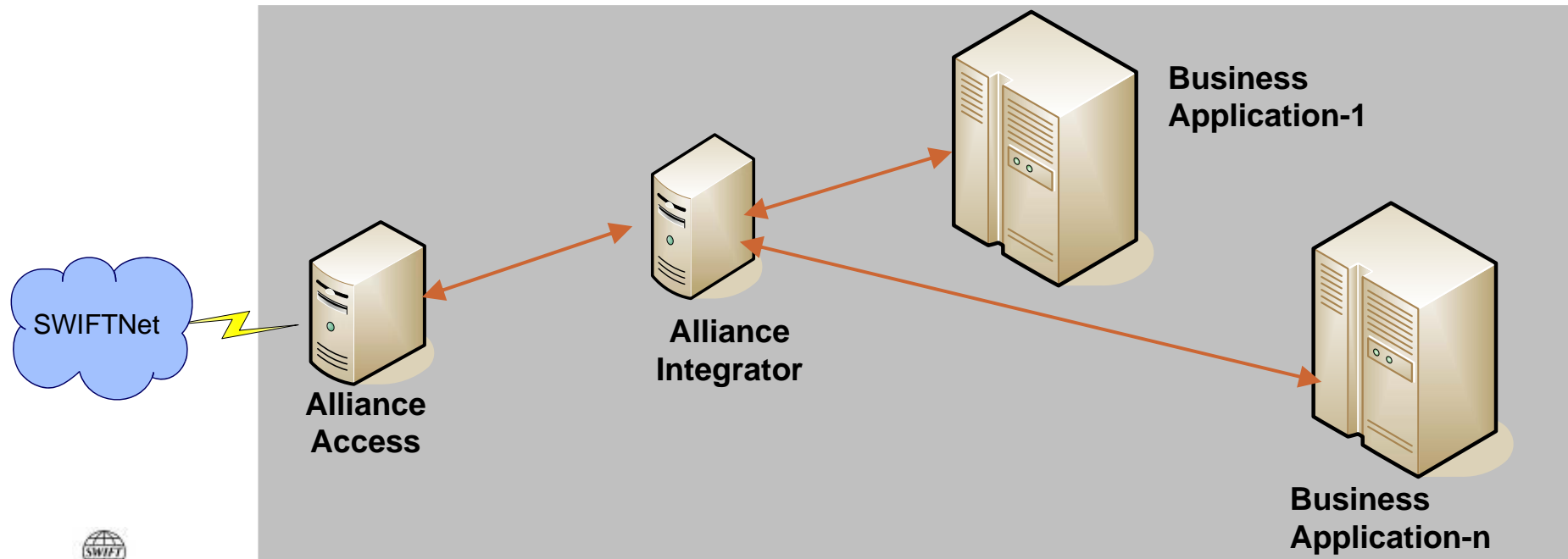
- どのようにインターフェイスを確立するのか？



SWIFT Alliance との連動に関して

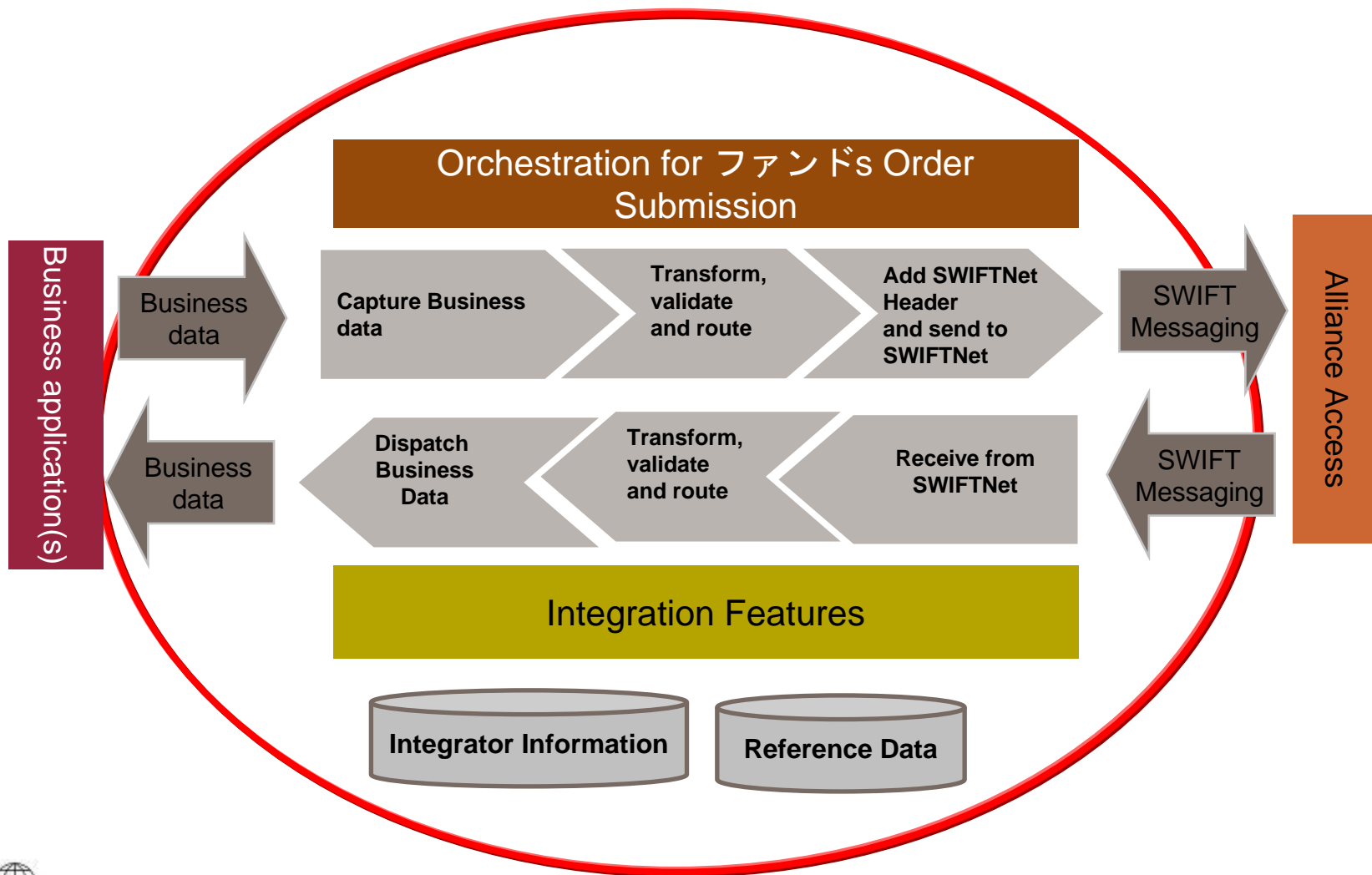
SWIFT Alliance Integrator とは？

- SWIFTとの連動に特化したオプション製品 – SWIFT Alliance Access のアドオン・ソフトとして導入される
- SWIFT が提供する製品
 - SWIFTが開発し、その保守も担当
 - その導入・設定はユーザーもしくは、認定パートナーが担当



SWIFTAlliance との連動に関して

- Integrator を利用すると、システム連携が容易となります





ファンドメッセージを送受信する為に

1) 現在SWIFT端末の導入済のユーザーへ

- I/E ベースの端末導入
- バックオフィスシステムとの連携

2) 新規にSWIFT端末を導入するユーザーへ

- 1日1000 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Kit)
- 1日200 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Lite)

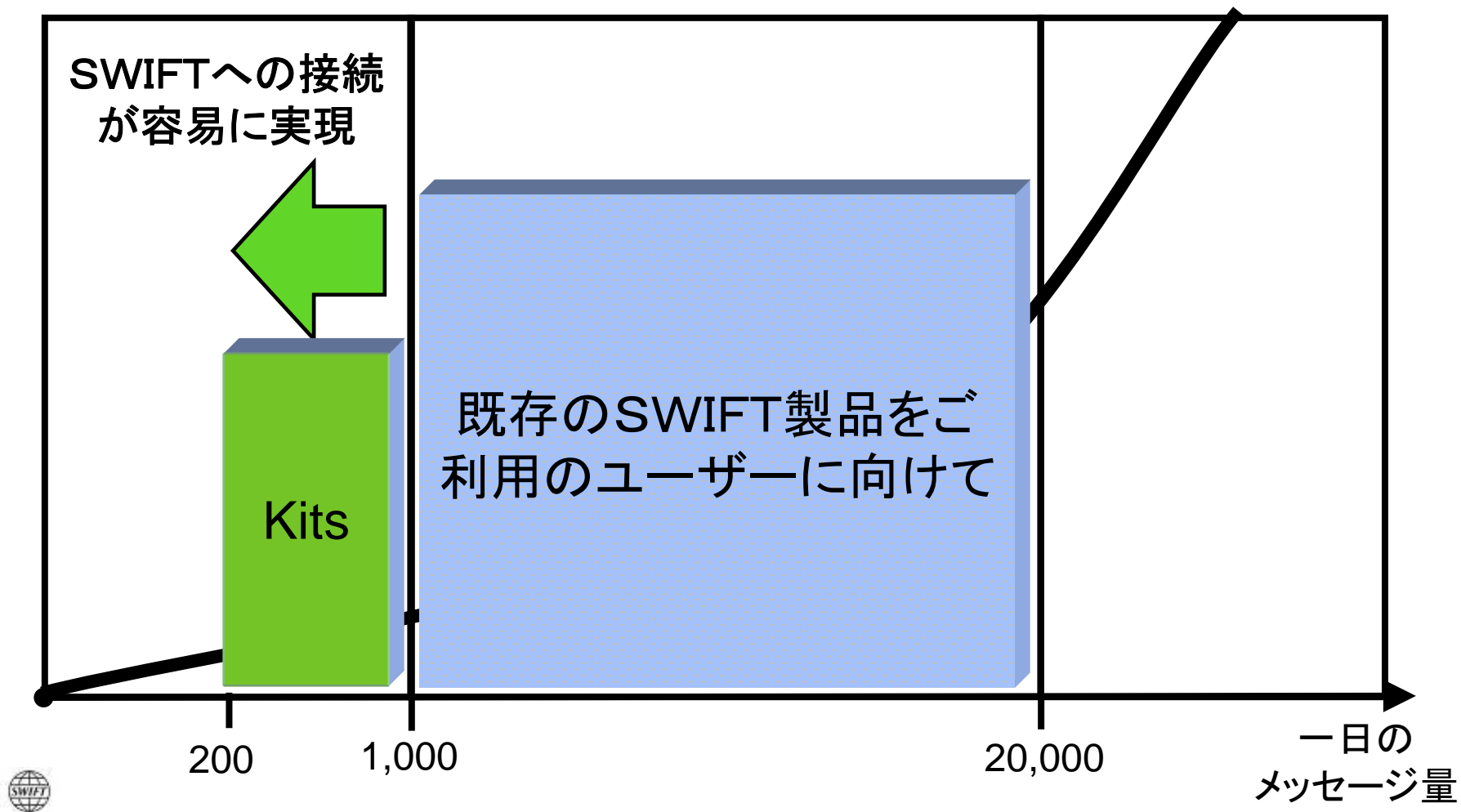
3) 今後の予定

- 講習会関連

Q&A

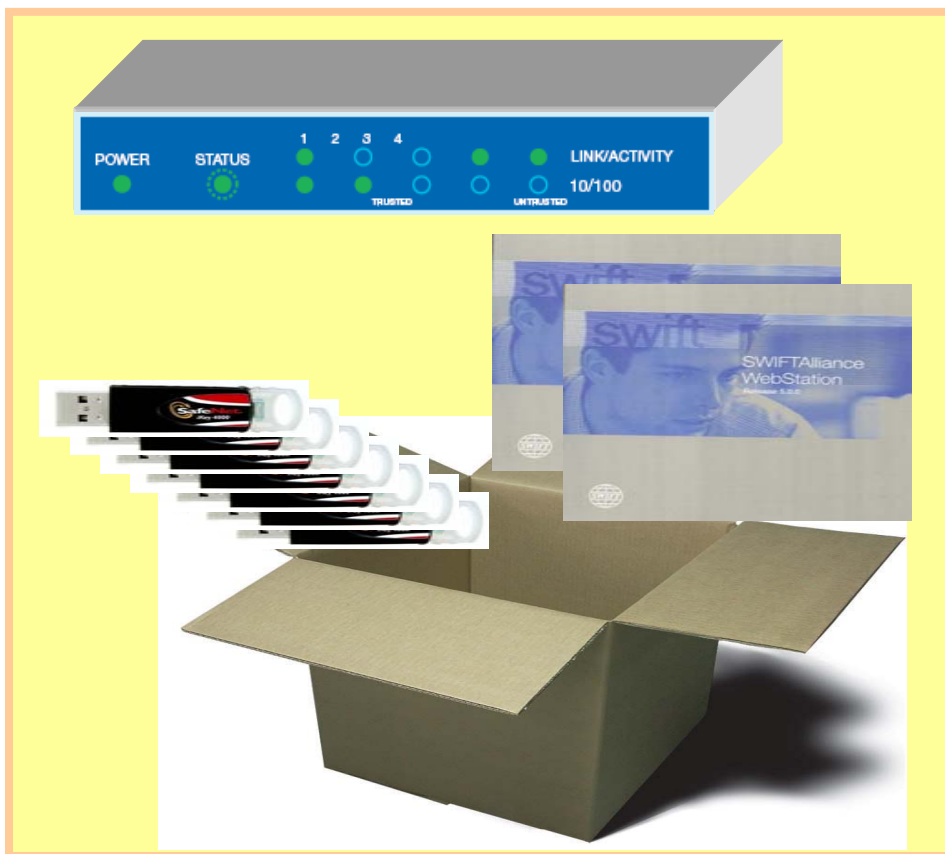
ファンドのメッセージを送受信するためには？

-新たにSWIFTをご利用のユーザー向けに(端末ベース)



ファンドメッセージを送受信するためには？

- SWIFTNet Kits の特徴

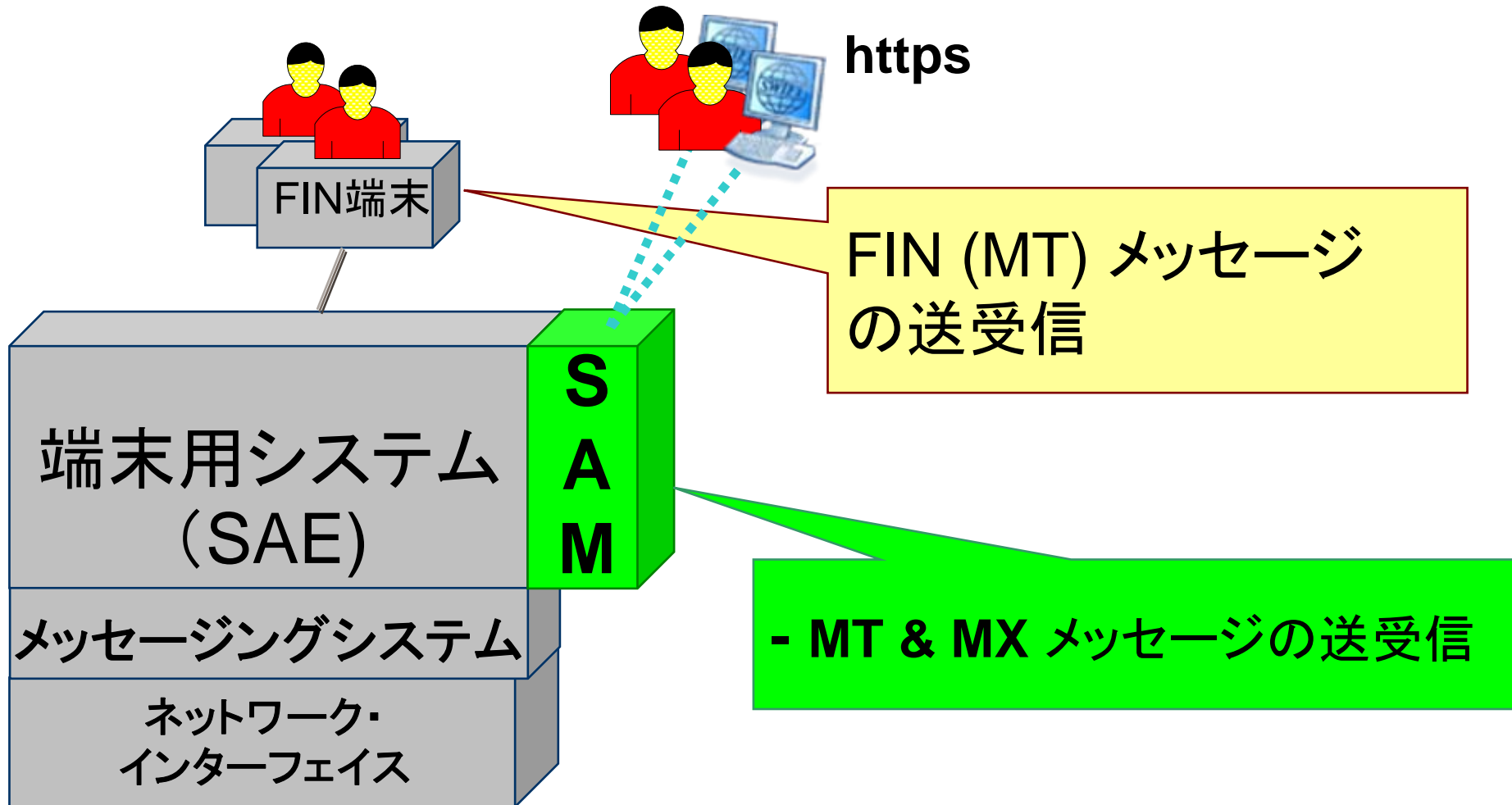


SWIFTNet Kitsとは

- 回線以外全て梱包
- 新規ユーザー向け
- 1日1,000メッセージ以内
- 6種類の構成に対応
- ひとつのオーダー対応
- すべてのライセンスを別個に揃えるより、約40%ほど安い

ファンドメッセージを送受信するためには？

- SWIFTNet Kits (Entry Kit) に含まれているもの





ファンドメッセージを送受信する為に

1) 現在SWIFT端末の導入済のユーザーへ

- I/E ベースの端末導入
- バックオフィスシステムとの連携

2) 新規にSWIFT端末を導入するユーザーへ

- 1日1000 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Kit)
- 1日200 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Lite)

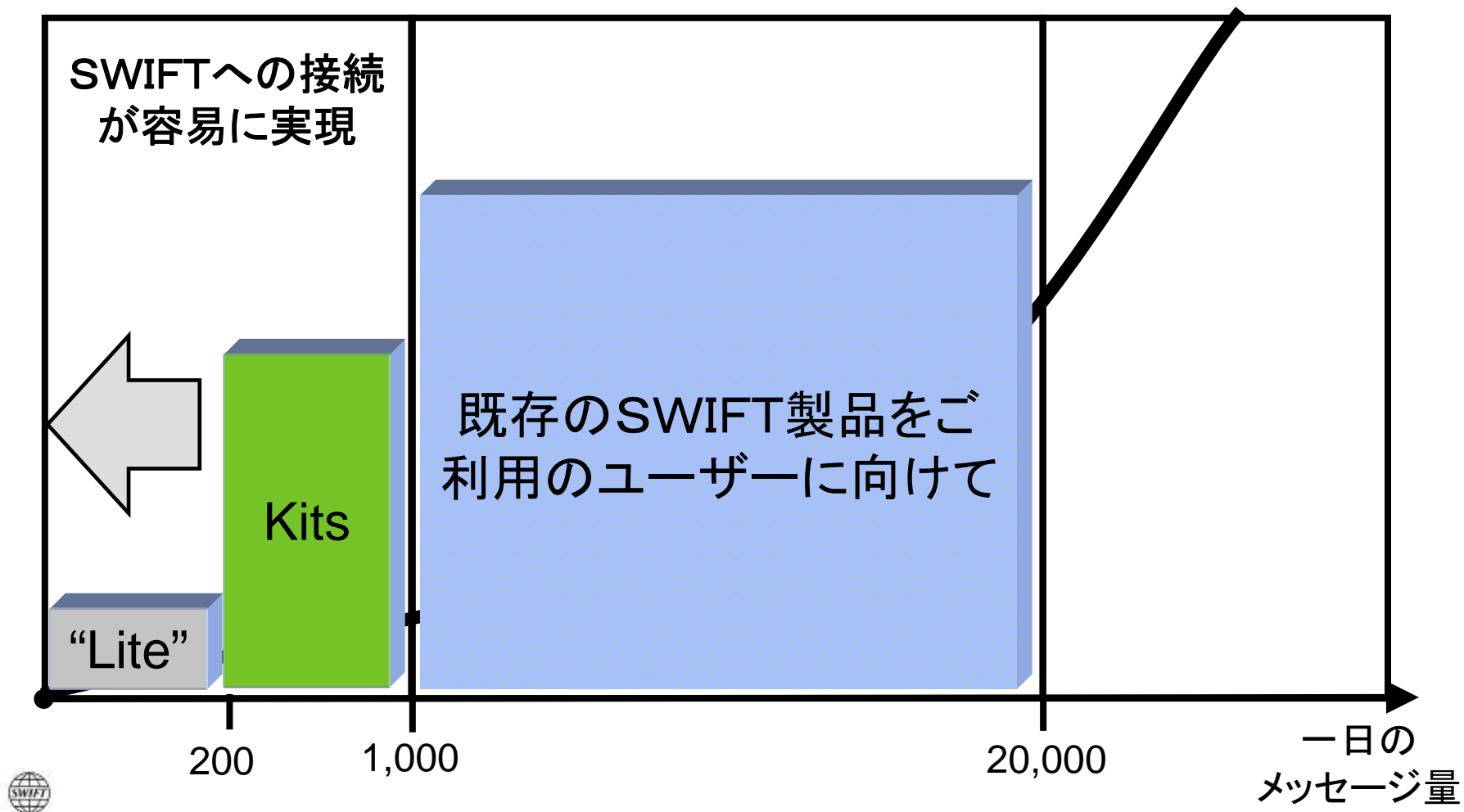
3) 今後の予定

- 講習会関連

Q&A

ファンドのメッセージを送受信するためには？

-新たにSWIFTをご利用のユーザー向けに(端末ベース)



Alliance Lite

その特徴は

新規お客様向け
簡単にSWIFTとの接続を実現

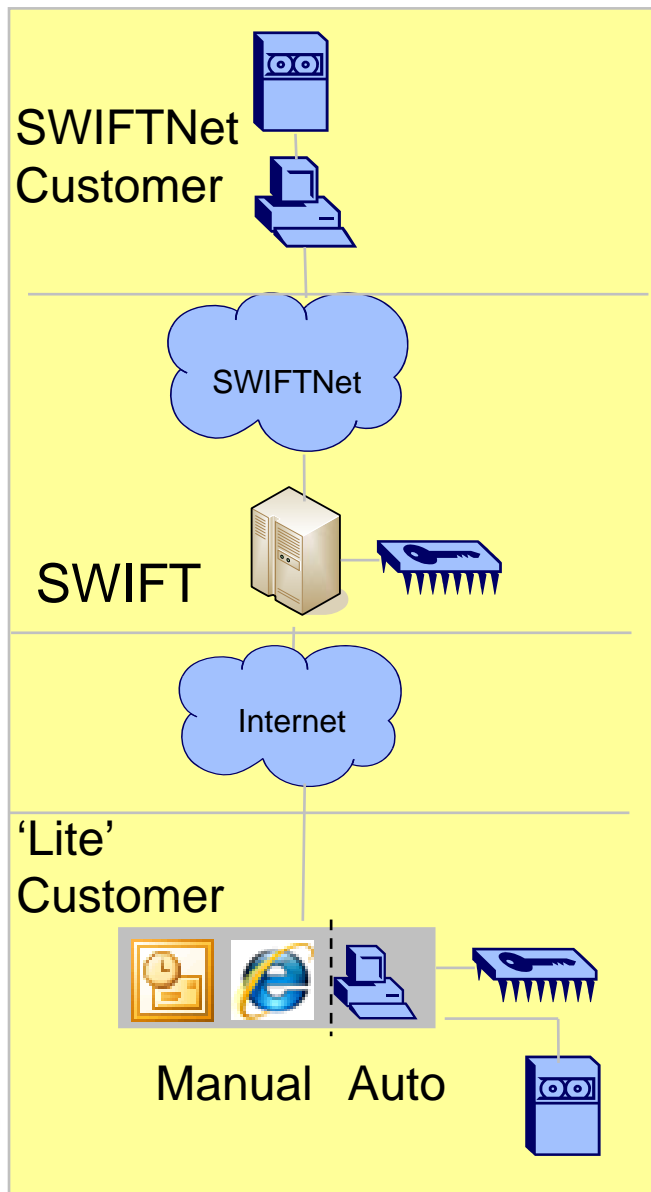
インターネット経由
セキュリティは従来のSWIFTと同等

PCを利用してのブラウザ経由の接続
セミ自動化のオプションも利用可能



ファンドのメッセージを送受信するためには？

- Internet 経由での接続を実現 - Lite



“Lite”

2008 11月リリース

- 新規ユーザーを対象
- 1日200メッセージ以内(送受信)
- 接続方法はインターネット経由
- デスクトップPCで実現
- マニュアル・インプットとファイルインターフェースを用意
- 定額、ボリュームごとの利用料を用意



Alliance Lite

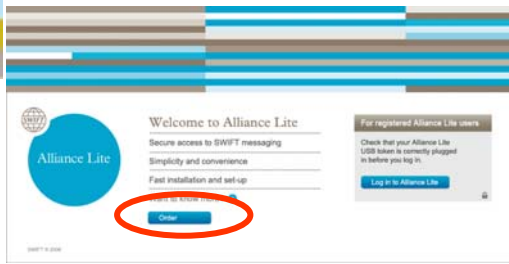
対象ユーザーは？

- 新規顧客様向け
- 限られた通信量：
 - 1日あたりの送信/受信が200件
 - 1件 = 1 MTメッセージ、もしくは1 FileActファイル(100KB)
- リリース1では：
 - 金融機関、事業法人
 - 送金決済、キャッシュマネジメント、外国為替
 - 2008年11月
- リリース2では：
 - ファンド & 証券
 - 2009年Q2



Alliance Lite

SWIFT への加盟とオーダーが一度に行えます



Registration
via Alliance Lite
Welcome page



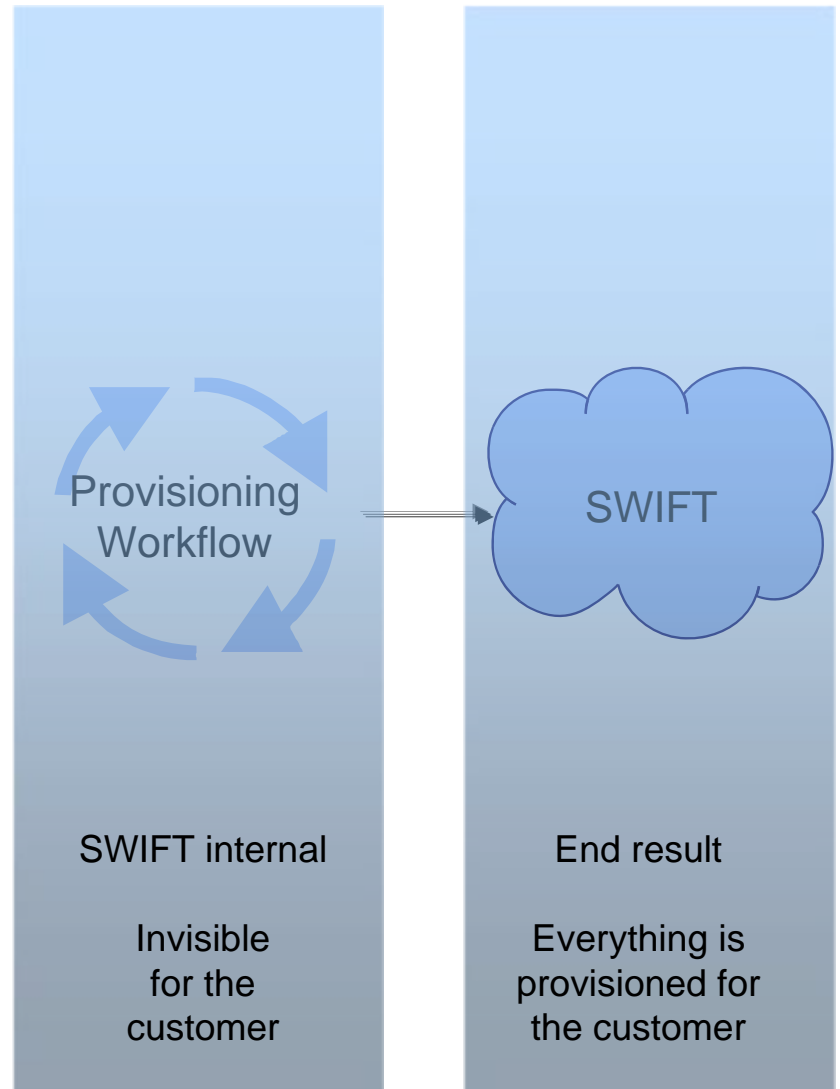
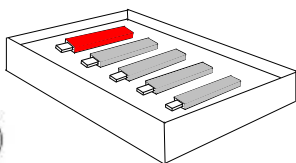
One single form
for Joining SWIFT and
Ordering
Alliance Lite



In business
in 5 days
Excl Membership

I can send & receive
Application & USB

+

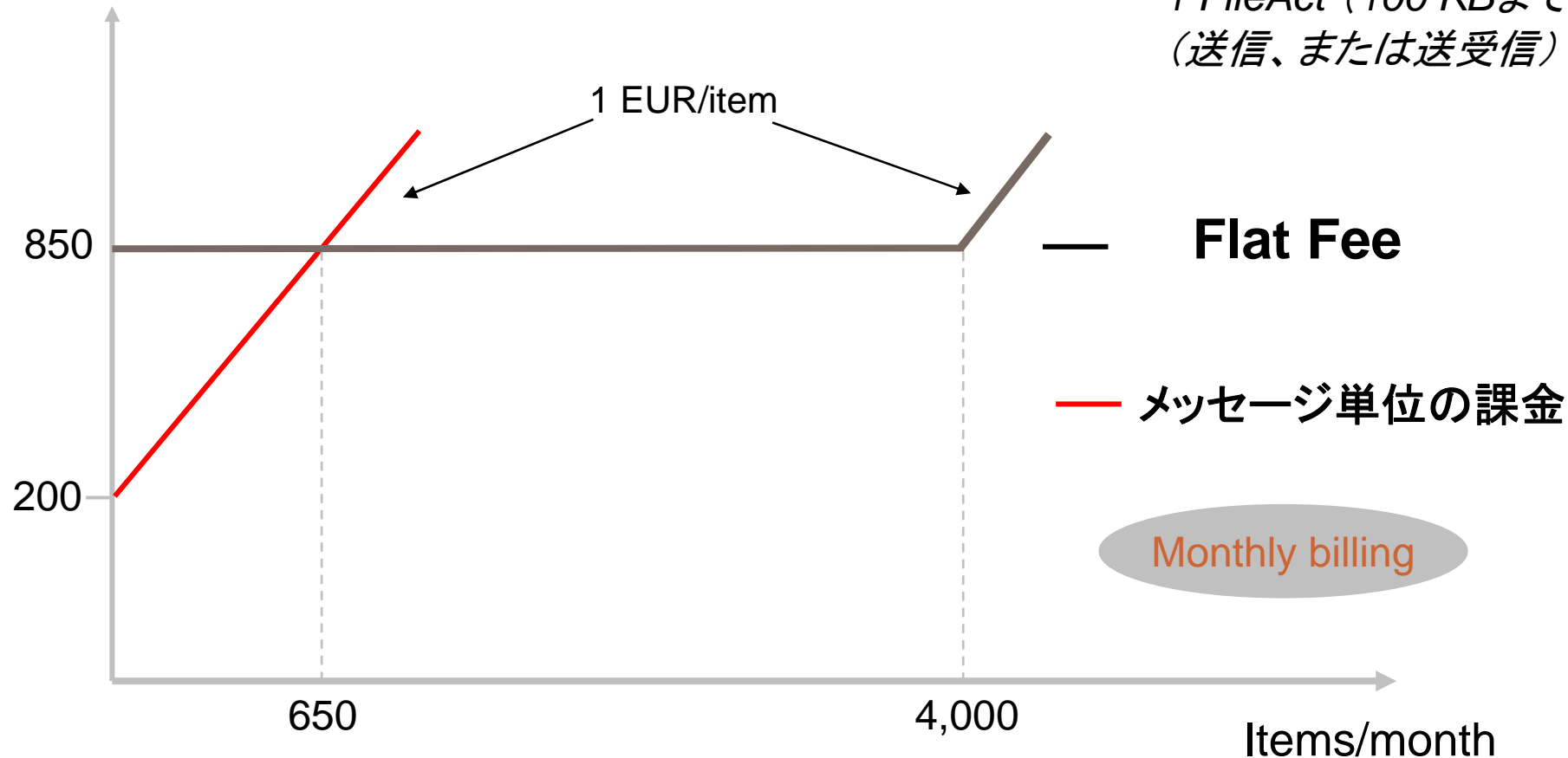


Alliance Lite

- お値段は？

EUR/ひと月

1 item = 1 FIN メッセージ, 又は
1 FileAct (100 KBまで)
(送信、または送受信)





ファンドメッセージを送受信する為に

- 1) 現在SWIFT端末の導入済のユーザーへ
 - I/E ベースの端末導入
 - バックオフィスシステムとの連携
- 2) 新規にSWIFT端末を導入するユーザーへ
 - 1日1000 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Kit)
 - 1日200 メッセージまでのユーザーへ (Alliance Lite)
- 3) 今後の予定
 - 講習会関連

Q&A

SWIFTの講習会

– 今後の主な予定(現時点での予定です)

- Implementing and Operating PKI – PKI 関連の講習会
 - 2009年7月、11月開催予定
- Operating Relationship management Application – RMA関連
 - 2009年1月、5月、7月(大阪)、8月開催予定
- Forex and Money Markets – Using FIN message (MT 3NN 関連)
 - 2009年6月開催予定
- Managing Alliance Gateway – SAG のご利用に関して
 - 2009年7月開催予定
- Investment ファンド's – ISO 20022 message
 - 2009 年5月開催予定
- Release Seminar V7
 - 2009 年11月開催予定



Questions & answers



ご清聴ありがとうございました



お問い合わせ
スイフトジャパン

山田 文孝

03-5223-7407

fumitaka.yamada@swift.com

